

# わたしのくらし 地域の歴史 ①7 鍋ヶ谷戸の醤油蔵

一戦中から昭和30年代半ばまで、鍋ヶ谷戸では地域の方が集まって、共同で醤油をつくっていました。醤油蔵の近くを通ると、びくと醤油の良い香りがしたそうです。  
今回は平成28年10月10日に行った白梅歴史懇話会「鍋ヶ谷戸の醤油蔵」での皆さんのお話や地域の方への取材を通して、簡単にまとめてみました。――

共同で醤油をつくっていた

齋藤巽さん（昭和3年生まれ）のお話では、鍋ヶ谷戸で醤油作りはじめたのは昭和14・15年ごろではないか、とのことでした。

戦争が始まり、若い男性が召集されると男手がなくなり、また、物資不足で塩も統制品となる中で、各戸で醤油作りをすることが難しくな

ったからようです。

中心になってやっていたのは齋藤眞一さんや森田浜吉さんらで、近所の人たちが集まり、麦は各家から運び、麴にしたりして、作っていました。

醤油作りは昭和30年代半ばくらいまで続いたようです。  
黒米幸三さん（昭和11年生まれ）



昭和22年 米軍撮影の写真



2011年の住宅地図

は小学生の頃、熊川小学校の澤辺先生に課外授業として醤油蔵につれていってもらい、大きな水槽みたいなものがあり、そこに麻袋が積んであったそうです。「小麦で作るんだよ」という話しが印象に残っているそうです。

また、森田芳伸さん（昭和16年生まれ）のお話では、自宅は農家ではなかったが、小麦を少し作っていた関係で仲間に入れてもらっていた。兄（昭和13年生まれ）が中学生のころ、リヤカーで小麦を持っていくと、「手伝っていけ」と言われ、重いものを運んだりしたそうです。その時一緒に森田秀雄さん、森田美芳さん、鍋一の森田正さんら3人がいたそうです。組合員はもっと大勢いたと思いますが、交代で作業していたみたいです、ということでした。  
森田静恵さんは昭和33年に熊川に嫁いできましたが、その頃ははまだ醤油を作っていたそうです。

醤油蔵は熊川六〇四番地付近に  
醤油蔵があったところは熊川六

〇四番地付近、現在の野島道夫さん宅の場所だそうです。野島道夫さん（昭和21年生まれ）の記憶では、15歳くらいの時に醤油蔵のあったところに親が家を建てたが、その時にたのみ一畳分くらい、深さ1メートルくらいの火を燃す釜の跡があったのを自分の目で見ているということでした。亡くなった父が「ここは醤油蔵の跡だから土が塩分を含んでいる、井戸水も塩分が強い」とよく口にしていました。

付近は片倉の社宅が並び、リヤカーが1台入れるような路地で、現在のように道が清水坂通りまで続いてはいませんでした。  
泡漬けがおいしかった

できた醤油は絞って釜で煮ます。その時、泡が出るのですが、その泡をすくい、切った大根などの野菜をつけて食べるのが格別おいしかったというお話を経験のある皆さんが懐かしく語ってくださいました。

絞りがすは、わらと混ぜて家畜のえさにしたそうです。

醤油は甕（かめ）に入れて、各戸で保管、消費します。甕から片口に醤油を移す時に気をつけたいことばしてしまつたことでした。

醤油も購入する時代へ  
昭和30年代後半には鍋ヶ谷戸で

の醤油づくりも終わりを告げます。作り手の方々が亡くなり引き継ぐ方がいなくなったり、醤油や味噌も商品を購入するようになったからです。近隣の商店では味噌や醤油の配達もしてくれました。

各戸にあった醤油甕はその用途をらっきょうをつける甕に変えたようです。甕を「けっころがす」と良い味になった……などという話も出されました。

残念ですが、時代の変化とともに地域での共同作業もその役割を終えたのかもしれない。

※アミノ酸工場のこと

戦後、醤油蔵の近くにアミノ酸工場ができ、そこで醤油(代用醤油?)を作っていたというお話も出されました。経営者は都内の方で、あまり近隣とのお付き合いもなかったようです。鯨の肉や脂を使っているらしく、周囲にいやな臭いがしていた、ということでした。戦後4〜5年続いていたようです。

※前号の「鍋ヶ谷戸の天王まつり」で「戦後、鍋ヶ谷戸の青年有志がお神輿を作ることを発案し、膳腕倉のところで作ったそうです。」との記述をしました。その後、山下光男(旧姓森田)さんから、山下さんや天野さん(天野建築さんとは別の方)が制作に関わったという情報が寄せられました。ありがとうございます。

## ただいま会員募集中!

公民館白梅分館を使用しているサークルの会員募集です。

### 《ドレミファキッズ》(リトミック)

月に3回公民館で未就園児の子供達とそのお母さん方が集まり、親子リトミックをやっています。講師の先生の弾くピアノに合わせて体を動かしたり歌ったり、楽器を鳴らしたりと自宅ではできない体験をのびのびと行っております。

12月にはお母さん方がハンドベルを練習し、冬のコンサートで発表しています。

活動日 毎月3回 水曜日 午前10時~11時

会費 月額2,000円 連絡先 山田 042-513-4458

### 《絵手紙花の会かたつむり》

年賀状や暑中見舞いをはじめ、季節の花や野菜、行事をはがきに描き言葉を添え、絵手紙にします。12月には干支の絵付けもあります。

見学歓迎、お待ちしております。

活動日 第3金曜日  
午前10時~12時

会費 月額1,100円  
連絡先 中沢 042-553-0921



### 《ファミリーダンス》(社交ダンス)

ダンス愛好家の集まり、ダンススポーツの仲間同士の交流場所としてレッスンしています。初心者の方も歓迎いたします。

活動日 毎週土・日曜日  
午後1時~4時30分

会費 月額1,000円  
連絡先 市川 042-552-7363



### 《第2陽青会》(茶道)

尾州久田流のお茶の稽古をしています。おしゃべりに花が咲いてしまうこともあります、楽しく皆で稽古をしています。

夜間ですので仕事を終えてから参加する方もいます。少しでも興味がありましたら、一度見学にお越しください。

活動日 第1・第3金曜日  
午後5時30分~9時

会費 月額3,500円  
連絡先 白川 042-551-8138



### 《コール白梅》(合唱)

色々なジャンルの歌に挑戦し、コーラスを楽しんでいます。目標を持ったの練習は、生き甲斐のひとつになると思います。

白梅まつり、市民音楽祭、文化祭に参加し、練習の成果を発表しています。

活動日 月3回火曜日  
午前9時45分~12時

会費 月額1,500円  
連絡先 菅原 042-552-5883

